

2017年度中国政府「国家建設高水平大学公派研究生項目」 名古屋大学学生募集要項

1 概要

名古屋大学では、中国政府による国家建設高水平大学公派研究生項目により2017-2018年度に入学する学生を募集します。

募集対象は、博士学位の取得を目的とする者（36～48月派遣※）と共同教育プログラムに参加する者（6～24月派遣）です。

なお、本学は、志願する研究科の定める入学試験に合格し、かつ、中国国家留学基金管理委員会の選考に合格した者に対して入学を許可し、入学検定料、入学料及び授業料を免除します。

※医学系研究科（医学博士課程）は4年（48月）の課程です。

医学系研究科以外は36～48月派遣です。

2 「博士学位の取得を目的とする者」の出願資格

出願できる者は、中国国籍を有し、中国国家留学基金管理委員会が定める「国家建設高水平大学公派研究生項目」の申請資格を有する者で、次の各号いずれかに該当する者とします。

(1)大学院の修士学位を有する者（ただし、中国国内に居住する者に限ります。）

(2)大学院の修士学位を取得見込みの者（2017年10月入学の場合は、2017年9月末日までに修士学位取得、2018年4月入学の場合は、2018年3月末日までに修士学位を取得すること。）

なお、医学系研究科（医学博士課程）については、外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が5年以上である課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。）を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は2017年9月30日までに授与される見込みの者もしくは同研究科（医学博士課程）が実施する個別審査によりこれと同等以上の学力があると認めた者で入学時に24歳に達する者を含みます。

「共同教育プログラムに参加する者」の出願資格

出願できる者は、中国国籍を有し、中国国家留学基金管理委員会が定める「国家建設高水平大学公派研究生項目」の申請資格を有する者で、かつ、中国国内大学の博士課程に在籍している者

3 出願書類

すべて日本語又は英語で作成してください。

*** 下記の(1)～(12)の書類を提出する際には、書類の右上に対応する番号の(1)～(12)をそれぞれはつきりと明記して下さい。**

また、出願書類をホチキスで留めないでください。

(1) 入学志願票（別紙様式、A4サイズ）

➤ 必ず下記ウェブサイトから様式をダウンロードし、タイプで作成してください。

<http://www.nushanghai.net/>

➤ 郵送する分には、日付と署名を忘れずに記入してください。

(2) 履歴書（年代順、様式任意 A4 サイズ）

(3) パスポートのコピー（顔写真のページ）又は中国政府が発行した身分証明書（「中華人民共和国居民身分証」の両面コピー

- (4) 研究計画書
- 様式任意、A4 サイズ、日本語の場合は 1000 字程度、英語の場合は 500～700 語程度
- (5) 修士学位取得（見込み）証明書（医学系研究科（医学博士課程）については、最終課程（修士もしくは学士）学位取得（見込み）証明書）
- 出身大学で発行されたものに限りま。
 - 中国語の場合は、公印付きの日本語又は英語の翻訳（原本）を添付してください。
 - 修士（医学系研究科については最終課程（修士もしくは学士）学位修了証書（diploma）原本は送付しないでください。
- (6) 成績証明書の原本（学部以降すべて）
- 出身大学で発行されたものに限りま。
 - 日本語又は英語以外の場合は、公印付きの日本語又は英語の翻訳（原本）を添付してください。
 - すべてを封筒に封入し、封に発行大学の割印（公印）を押印してください。
- (7) 推薦書（レターヘッド付きで 2 名）
- 推薦者は教授又は指導教員若しくは申請者が所属する大学の教員又は授業を担当した者とします。
 - 封筒に封入し、封に作成者の割印を押印してください。
- (8) 研究上の実績・能力を示す公表された著書、論文、報告書等があれば、その概要等を簡潔にまとめたもの（人文学、教育発達科学、法学、経済学、国際開発、創薬科学の各研究科については、詳細に指定があるため、別紙のとおりとします。）
- (9) 小論文（研究背景及び名古屋大学での研究にどう合致するかを詳細に記述。）
- A4 サイズで 3 枚以内
- (10) 日本語又は英語能力のわかる下記の語学試験のスコア
- JLPT（日本語能力試験）又は TOEFL/TOEIC/IELTS のいずれかを提出してください。（CET は不可）
 - 人文学、法学、医学系、工学、国際開発、創薬科学の各研究科については別紙のとおりです。
- (11) 顔写真 2 枚（3.5 cm×4.5 cm）
- 画像データは不可
 - 裏面に大学名と氏名を記入し、一枚は入学志願書に添付してください。
- (12) その他、各研究科が必要と認める提出書類については別紙のとおりです。

4 出願手続

(1) 出願する前に行うこと

A：出願する研究科とのコンタクト（出願先が、教育発達科学・法学・経済学の場合）

必ず、別紙研究科連絡先にある E メールアドレスに連絡すること。その際には指導を希望する教員名を明記し、研究内容や受入れ条件等を確認し、出願の許可を得ておくこと。

（研究科の連絡先は、別紙 E メールアドレスを参照してください。）

B：希望指導教員とのコンタクト

（出願先が、人文・理・医・工・生命農・国開・多元・環境・情報・創薬の場合）

必ず、本学研究科の指導を希望する教員に連絡を取り、研究内容、受入れ条件等を確認し、出願の許可を得ておくこと。（指導教員の連絡先は、別紙にある HP から検索してください。）

(2) 出願方法

出願に当たっては、3の出願書類を一括して封筒に入れ、「国家建設高水平大学公派研究生項目」と明記して下記10の(1)の送付先へ書留郵便で郵送し、同時に電子メールにて「入学志願書」(別紙様式)を下記10の(1)の送付先アドレスに送付してください。

5 応募締切

出願書類提出期限：2016年12月19日(月)必着で本学中国交流センターに全ての書類を揃えて提出してください。(期日を過ぎたものは受理しません。)

6 選考方法

(1) 書類審査、面接試験等により総合的に判断し選考します。

(2) 研究科が必要と認める場合には、下記の日程で面接試験を実施することがあります。詳細は追って通知します。

面接予定日： 北京会場 2017年1月12日(木)、13日(金)

上海会場 2017年1月16日(月)、17日(火)

(受験時の交通費、宿泊費等は自己負担。受験者が多い場合には面接日を増やす可能性あり。)

7 選考結果の通知

2017年3月9日(木)までに志願者本人あてに選考結果を郵送します。

なお、合格者に対しては、受入許可書及び授業料等免除証明書を同封します。

8 入学時期

2017年10月又は2018年4月(原則としてこの時期以外の入学はできません。)

9 入学手続

(1) 中国国家留学基金管理委員会の審査に合格した者は、「国家留学基金資助出国留学資格証書」(英語及び中国語)の写しを速やかに下記10の(2)の照会先へ電子メールで提出後、原本を郵送してください。

※大学院の修士学位を取得見込みで出願した者については、修士学位取得証明書(出身大学で発行されたもの)に限ります。日本語又は英語以外の場合は、公印付きの日本語又は英語の翻訳(原本)を添付)も速やかに下記10の(2)の照会先へ電子メールで提出後、原本を郵送してください。

(2) 「国家留学基金資助出国留学資格証明書」が本学に到着後、日本の「留学」ビザの取得に必要な「在留資格認定証明書」の申請案内を合格者あてに電子メールで送付します。

10 出願書類送付先・照会先

(1) 出願書類の送付先

名古屋大学中国交流センター

住所 200030 中華人民共和国上海市徐匯区淮海西路55号 申通信息広場27階D座

電話・FAX 021-6280-6185

E-mail: office@nushanghai.net

(2) 出願に関する照会先（照会はすべて日本語又は英語で行ってください。）

住所：〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学

教育推進部入試課 国際入試係（国際開発研究科棟1階105室）

電話：+81-52-747-6556 FAX：+81-52-747-6526

E-mail: info-cn@adm.nagoya-u.ac.jp

(3) 研究内容に関する指導教員への照会先

別紙を参照してください。

1.1 その他

(1) 提出された書類等に不備がある場合には受理しません。また、受理後の出願書類等の変更は認めません。

(2) いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しません。

(3) 出願書類等に虚偽の記載をした又は記載すべき事項を記載しなかった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(4) パスポートを所持していない場合は事前に取得しておいてください。

(5) 入学後は本学が用意する宿舎に半年間又は1年間入居することが可能です。（家賃一ヶ月2.5万円程度。）

(6) 障害のある者等で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、あらかじめ相談してください。

相談先

住所：〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学

教育推進部入試課 国際入試係（国際開発研究科棟1階105室）

電話：+81-52-747-6556 FAX：+81-52-747-6526

E-mail: info-cn@adm.nagoya-u.ac.jp

(7) 2017年4月より、工学研究科改組のため、専攻名等の変更があります。

http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/new_dept.html

各研究科が必要と認める提出書類(要項3.出願書類(8)(10)(12))及び研究科連絡先一覧

研究科名	その他研究科が必要と認める提出書類等	研究科が必要と認める語学能力の証明	研究科連絡先	Eメールアドレス	英文ホームページURL	出願時連絡先
人文学研究科	修士論文がある場合にはその写しと要旨(要旨は和文3000字または英文2000語程度)。修士論文を書く予定がある場合はその概要(和文2000字または英文1000語程度)。ただし、修士論文を書かずに修士の学位を取得している場合、または書く予定がなく学位取得予定の場合には、研究上の実績がわかる研究論文、研究報告や研究レポート等の内容及び要約(和文2000字または英文1000語程度)。	日本語もしくは英語能力を証明するもの(JLPT(日本語能力試験)/TOEFL/IELTSなどの過去2年以内の受験結果)	文系教務課 留学生グループ	hum@adm.nagoya-u.ac.jp	http://www.hum.nagoya-u.ac.jp/ (現在のところ、和文のみ)	B.教員
教育発達科学研究科	修士論文がある場合は、その写しと要旨(日本語3000字または英語1500語程度)。	-	文系教務課 留学生グループ	ryuugaku01@educa.nagoya-u.ac.jp	http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/en/index2.shtml	A.研究科
法学研究科	修士論文の写しとその要旨A4、4-5枚(中国語及び日本語または英語)及び研究計画書(中国語及び日本語または英語。3000字程度)	日本語または英語での博士論文執筆能力を有しているか否かを判断するため、語学試験を実施する。 ただし、以下の要件を満たす者については、語学試験を免除する。 TOEFL PBT: 550以上 TOEFL iBT: 79以上 IELTS Band Score: 6.5以上 TOEIC: 800以上 JLPT(日本語能力試験): N1	文系教務課 留学生グループ	kyomu@law.nagoya-u.ac.jp	http://www.law.nagoya-u.ac.jp/en/	A.研究科
経済学研究科	経済学研究科指定の申請書(研究科に問い合わせること)	-	経済留学生相談室	ryu-gaku@soec.nagoya-u.ac.jp	http://www2.soec.nagoya-u.ac.jp/?lang=en	A.研究科
理学研究科	-	-	教務学生係	ri-daigakuin@sci.nagoya-u.ac.jp	http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/en/index.html	B.教員
医学系研究科	修士学位取得(見込み)証明書の提出が困難な場合には、学士学位取得(見込み)証明書を提出すること。	日本語または英語能力がわかる語学試験のスコア(JLPT(日本語能力試験)/TOEFL/TOEIC/IELTSなどから、可能な限り複数のものを提出することとする。)	国際交流・留学生係	jga-ryu@adm.nagoya-u.ac.jp	http://www.med.nagoya-u.ac.jp/index2.html	B.教員
工学研究科	-	英語能力がわかる語学試験のスコア(原則として2年以内のもの)	留学生係	eng-admission@adm.nagoya-u.ac.jp	http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/en/index.html (注意)2017.4より、改組のため、専攻名等の変更があります。 http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/new_dept.html	B.教員
生命農学研究科	-	-	教務学生係	kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp	http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/index-e.html	B.教員
国際開発研究科	修士論文がある場合にはそのコピーと要約(日本語4000字または英語1600語程度)。修士論文を書く予定がある場合はその概要(日本語4000字または英語1600語程度)。ただし、修士論文を書かずに修士の学位を取得している場合、または書く予定がなく学位取得予定の場合には、研究上の実績がわかる研究論文、研究報告書、研究著書等のコピー及び要約(日本語4000字または英語1600語程度)。	日本語または英語能力検定試験のスコア(写し、原則として2年以内のもの) JLPT(日本語能力試験)又はTOEFL / TOEIC / IELTSのいずれか	文系教務課 留学生グループ	gsidoffice@adm.nagoya-u.ac.jp	http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/index-en.html	B.教員
多元数理科学研究科	-	-	教務学生係	ri-daigakuin@sci.nagoya-u.ac.jp	http://www.math.nagoya-u.ac.jp/en/index.html	B.教員
環境学研究科	-	-	大学院係	env@adm.nagoya-u.ac.jp	http://www.env.nagoya-u.ac.jp/en/index.html	B.教員
情報学研究科	-	-	教務学生係	admission@is.nagoya-u.ac.jp	http://www.is.nagoya-u.ac.jp/index_en.html (組織再編に伴い、新研究科のHPは現在作成中です。)	B.教員
創薬科学研究科	修士論文がある場合にはそのコピーと要約(日本語または英語でA4版5枚程度。図を含めてもよい。)。修士論文を書く予定がある場合はその概要(日本語または英語でA4版5枚程度。図を含めてもよい。)。ただし、修士論文を書かずに修士の学位を取得している場合、または書く予定がなく学位取得予定の場合には、研究上の実績がわかる研究論文、研究報告書、研究著書等のコピー及び要約(日本語または英語でA4版5枚程度。図を含めてもよい。)	日本語または英語能力がわかる語学試験のスコア(JLPT(日本語能力試験)/TOEFL/TOEIC/IELTSなどから、可能な限り複数のものを提出することとする。)	創薬科学研究科・細胞生理学研究センター事務室	nyushi@ps.nagoya-u.ac.jp	http://www.ps.nagoya-u.ac.jp/en/	B.教員